

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

314号

2017年4月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## キャンドル革命と韓国大統領選挙の展望

### ●朴槿恵罷免ーキャンドル革命の勝利

「主文、大統領朴槿恵(パク・クネ)を罷免する」。3月10日、憲法裁判所によって大統領弾劾が決定した瞬間、光化門広場で実況中継を見守っていたセウォル号遺族たちは号泣し、市民たちは歓喜の声をさく裂させた。キャンドル革命が勝利したのだ。

大統領選挙は5月9日に実施されることになり、各党は一斉に候補者選びに入った。リアルメーター3月第3週の世論調査結果によると、政党支持率は、第1野党のともに民主党が50%と圧倒的な支持を受けており、大統領候補支持率においても文在寅(ムン・ジェイン)前党代表が36.6%、有力3候補の支持率合計は63%に達している。圧倒的な支持率の高さから見て、ともに民主党の大統領候補が次期大統領に当選する可能性が極めて高い。

第2野党国民の党の支持率は12%で同党の安哲秀(アン・ Cholス)元党代表の支持率は12%、第3野党正義党の支持率は6%で、沈相奵(シム・サンギョ)党代表の支持率は3.9%、与党自由韓国党(旧、セヌリ党主流派)の支持率は11.6%で、洪準杓(ホン・ジュンピョ)慶尚南道知事の支持率は9.8%だ。

朴槿恵政権与党の執権延長はほぼ不可能で、キャンドル革命の力によってすでに与野党政権交代は実現したも同然だ。問題は政権交代が実現するかどうかではなく、どのような政権交代を実現するのかだ。

### ●何のための「改憲国民投票」なのか

自由韓国党、正しい政党(旧、セヌリ党非主流

派)、国民の党の3党が、3月15日に「分権型(大統領は国防と外交、首相は内政を担当)4年重任制(4年任期で2期まで可能)改憲」で合意し、5月9日の大統領選挙当日に国民投票を行うことを提案している。憲法改正には国会議員の3分の2以上の賛成が必要で、全300議席のうち121議席を有するとともに民主党が早期改憲には明確に反対しているため、改憲の可能性はない。にもかかわらず、改憲を主張する目的は何か。



▲朴槿恵弾劾判決に喜ぶ韓国民衆

前回の国会議員選挙は、朴槿恵の国政壟断事件が発覚する前に行われたために、現在の低調な支持率とは裏腹に、自由韓国党は97議席、正しい政党は30議席を有している。国民の党の38議席を合わせれば165議席で、国会議席の過半数を優に上回ることができる。キャンドル革命によって執権延長の可能性が断たれた旧与党勢力が、再執権に道を開くために計画されたのが改憲要求だ。国民の党がこれに加担するならば、キャンドル革命の審判を免れないだろう。

### ●民主陣営の大団結で政権交代を

旧与党勢力は、政権交代後も巨大野党として次期政権による国家大改革を阻止しようとするだろう。この旧与党勢力をそのまま存続させる限り、誰が大統領になったとしても、次期政権は手足を縛られて改革を進められないだろう。

朴槿恵退陣を実現した第1幕と同様、キャンドル革命の第2幕も、民主陣営が団結して、キャンドル民衆とともに歩んでこそ国家大改革を推進することができるのだ。

革命の主人公はキャンドル民衆だ。(金 五)

## 朴槿恵退陣・逮捕を求めて

### 大阪でキャンドルデモ キャンドルデモ in 大阪

韓国憲法裁判所による朴槿恵大統領の弾劾認定(罷免)判決と逮捕を要求して、韓統連大阪本部主催で「朴槿恵大統領の即時退陣・逮捕を求めるキャンドルデモ in 大阪」が3月4日(土)に行われ、会員・在日同胞・日本人約200名が参加した。

キャンドルデモでは、出発集会で金隆司(キム・ユンソ)韓統連大阪本部代表委員が主催者挨拶を通じ「国会で朴槿恵大統領の弾劾が可決されて以降も、継続して韓国民衆は朴槿恵退陣を要求してキャンドル集会を開いている。大多数の世論は朴槿恵弾劾だ」と述べながら、「私達も今日のキャンドルデモを通じて、朴槿恵退陣を強く訴えていこう」と語った。



▲キャンドルデモを通じ、朴槿恵退陣・拘束を訴える

その後、参加者はJR鶴橋駅前を通るキャンドルデモへと移り、各自がキャンドルやプラカードを持ちながら「朴槿恵は即時退陣しろ!」「憲法裁判所は朴槿恵を弾劾しろ!」「朴槿恵を拘束・処罰しろ!」「韓米合同軍事演習を中止しろ!」などのスローガンを力強く叫び、道行く人々にアピールした。

## 韓統連生野支部定期総会

### 金昌範新代表委員を選出

### 韓統連生野支部第10期定期総会

日本で最も多く在日同胞が居住する大阪市生野地域で、自主・民主・統一運動を実践している韓統連生野支部が3月19日(日)、「韓統連生野

支部第10期定期総会」をばだん(つるはし交流ひろば・大阪市生野区)で開催し、生野支部会員などが参加した。

定期総会では、金昌秀(キム・チャンス)韓統連生野支部代表委員が挨拶を通じ「韓統連生野支部が結成されて今年で21年目を迎えます。人間でいえば立派な成人です。これからも生野地域でより一層自主・民主・統一運動を実践していきます」と述べ、「今日の定期総会では、そのための事業計画などを積極的に討論をして、確認していきましょう」と語った。

次に、孫亨根(ソン・ヒョンゴン)韓統連中央本部議長、金隆司(キム・ユンソ)韓統連大阪本部代表委員が挨拶を行った後、議案審議に入り、第9期活動総括案、第10期活動方針案が一括して提案された。特に活動方針案では、▲毎月1回を基本に生野支部会員などを対象にしたワンコインミーティングの開催、▲韓国語会話教室の継続開催、▲日常的に情勢にふれる契機として、支部主催の学習会などで「5分でわかるウリナラ情勢」を実施するなどが提案され、満場一致で採択された。

そして執行部が総辞職した後、役員改選が行われ、新たに生野支部代表委員として金昌範(キム・チャンボム)前副代表委員が選出されるとともに、新副代表委員として孫啓榮(ソン・ケボン)前組織部長が選出された。常任顧問には金昌秀前代表委員が、顧問には金秀一(キム・スイル)前顧問が継続して推戴された。



▲就任挨拶を行う金昌範新代表委員

金昌範新代表委員は就任挨拶を通じ「朴槿恵の退陣をはじめ祖国の情勢が大きく変化しようとしている中、一つ一つの活動を大事にして成果を残していきたい」と決意を語り、第10期定期総会

は終了した。

総会終了後は、同会場で地域同胞、日本の連帯勢力も参加して「総会報告と交流の集い」が開かれた。集いでは、新たに発足した生野支部執行部一人一人のプロフィールが紹介されるとともに、支部会員などからスピーチが行われるなど、韓統連生野支部の新たな門出を祝賀した。

## 新たな体制のもと

### 日朝国交正常化を実現させよう！

#### 日朝市民連帯・大阪第3回総会

大阪で日朝国交正常化の実現に向け活動をしている日朝国交正常化の早期実現を求める市民連帯・大阪(略称：日朝市民連帯・大阪)が3月3日(金)、エルおおさか(大阪市中央区)で「第3回総会」を開催した。

総会では、長崎由美子日朝市民連帯・大阪共同

代表が開会挨拶を行った後、姜賢(カン・ヒョン)日朝市民連帯・大阪事務局長が活動報告及び会計報告、活動方針を提案し、満場一致で採択された。

続いて、金昌五(キム・チャンオ)韓統連大阪本部副代表委員が朴槿恵弾劾と次期大統領選挙をめぐる動き、朝米関係などについて情勢報告を行った。

そして役員改選が行われ、共同代表に長崎由美子さんが再選されるとともに、元大阪府議会議員の半田實さん、全港湾関西地方本部委員長の大野進さんが新たに共同代表として選出され、前共同代表の加来洋八郎さんが顧問に推戴された。

その後総会では、角替豊(つのがい・ゆたか)さん(文化・学術・市民交流を促進する日朝友好京都ネット副会長)の記念講演が行われ、訪朝経験を通じての日朝国交正常化の重要性が語られ、第3回総会は終了した。

## 〈次代を担う若者たち〉 —韓青大阪本部 活動紹介—

アンニョンハシムニカ、韓青大阪本部の李俊一(イ・チュル)です。そろそろ暖かくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

3月は朴槿恵が大統領を罷免されるという出来事があった歴史的な月でした。このタイミングで冬期講習会「スノーフェスティバル2017」が開催されました。

いやがおうにもテンションは上がりっぱなしです。3月10日、朴槿恵大統領の弾劾裁判の判決日が、ちょうど冬期講習会の1日目でした。金承民(キム・スンミン)韓青中央本部委員長の英断で、常任グループは班別討論を中断して全員大広間へ。弾劾決定の瞬間、全員の喜びが爆発！歴史的な瞬間を共有できた幸せにしばらく浸っていました。その後の班別討論も白熱し、次期大統領選挙の展望や今後の韓国情勢の方向性、「6・15時代」を取り戻すための闘いを、今後どうやっていくのかというふうに、未来に向けた前向きな意見が多く聞かれました。

韓青大阪本部は文化発表でタルチュムを披露。伝統的なタルチュムの様式に従い、権力を風刺する演劇色の強い演目に仕上げました。ちょうど朴槿恵大統領の弾劾をテーマにしており、セウォル号惨事遺族の目線で見たい大統領弾劾を演じたところ、参加者から「感動した」「いまの韓国社会がわかってよかった」など大好評でした。

他にもテコンドー体験やチョコゴリの試着など新しい試みをいくつか行い、いずれも盛り上がりました。今回の冬期講習会は新規参加者も多く、良い雰囲気で行うことができました。大統領選挙を控え、ますます激動の情勢となっていくと思いますが、韓青大阪本部一同、これからも一致団結して頑張っていきたいと思えます。チャル プタッカゲッスムニダ(よろしくお願ひいたします)。



▲冬期講習会での記念写真

# 自主・民主・統一の大道を地域同胞とともに！

韓統連生野支部代表委員 金昌範 (キム・チャンボム)

3月19日、韓統連生野支部第10期定期総会が開かれ、金昌範新代表委員が選出されました。金昌範代表委員から今後の抱負について書いて頂きましたので紹介します。

アンニョンハシムニカ。生野支部代表委員と言う重要な役割を担っていく上で、大きく2つのテーマを見据えながら、これからの活動にあたっていきたいと思ひます。

まず一つは在日同胞、特にこれから同胞社会の中核を担っていく若い世代が祖国と民族につながっていくための水路をより伸ばし広げていくことです。

代表委員を引き受けた今年、私は満60歳になります。本来なら、もっと若い世代の同胞が地域支部活動の責任を担うのがより理想的だと思いますが、そうならないのは私たちの組織の構成自体が高齢化していることの表れとも言えます。勿論、日本社会と同様、同胞社会全体が少子高齢化しつつあり、私たちの陣容は決して不自然ではないものの、生野区という同胞の最密集居住地域に支部を構えていることからすると、今まで以上に地域同胞に働きかけていくことは避けようのない課題だと思います。

何よりも世代交代が進む中、年々激しくなる民族排外主義の波を受け、同化・帰化へと進む同胞が増え続けているのが重い現実です。彼らが排外主義に屈せず(屈したという自覚すらない同胞も多いと想像する)、自らの祖国と民族を誇りに思えることこそが、同胞社会と組織を担う仲間が生まれる上での大前提です。その意味では母国語とともに地域同胞が歴史を学べる場を作り、実際に集うことが必要になります。

今、生野支部では「人物に見るウリ(私たちの)歴史」という連続学習会を進めていますが、地域同胞と集い、多くの可能性と希望を内包したウリ歴史学習を通じ、世代を越えた共感を生み育んでいきたいと思ひます。

もうひとつは地域支部として、正しい情報発信の拠点になるということです。

一つ目と関連しますが、日本のメディアなどによる対北バッシング情報があふれかえり、従軍慰安婦にされたハルモニ(おばあさん)たちの生は歪められる一方で、韓国民衆が主導し巨大な社会変革をもたらそうとする闘いの意義は、やはり歪められるか過小評価されています。そんな中、韓統連が発信する情報は、客観的にも非常に重要な意味を持っていると思ひます。その地域支部として、

祖国と民族の現状と正しい評価をより確実に同胞たちに伝えていく役割が私たちにあります。ましてや、今年は南・北・海外の幅広い分野・階層の団体と個人が集う全民族大会の開催が計画されており、祖国統一という全民族の歴史的命題の実現への大きな一歩を築く一大契機が今

準備されています。

在日同胞が、我が民族に対して否定的なメディア報道に惑わされることなく、祖国の現実と正しく向き合うことで新たな希望と意気を見出せるように情報共有することが必要であり、また同胞たちが自らの民族的良心の発露として、この統一事業に参画する道筋を作っていくことも、私たちに求められていると思ひます。

いずれのテーマについても、私たちが地道に学習し地域活動を行ってこそ成果づけられる課題です。これから一歩一歩着実に前進していきたいと思ひます。チャル プタッカゲスムニダ(よろしくお願ひします)。



▲交流の集いで発言する金昌範代表委員



# 在日同胞学生ハナフォーラム盛大に開催

在日韓国人学生協議会会長 康帝洙 (カン・チス)

在日韓国人学生協議会(学生協)と在日本朝鮮留学生同盟(留学同)の2つの在日同胞学生組織で「在日同胞学生ハナフォーラム」を2月25日(土)に開催しました。



▲各パネラーの発言を熱心に聞くハナフォーラム参加者  
内容としては、当日の午前から「不安な外出」「送還日記」「レッドハント」の3作同時の映画上映会を行い、午後から康宗憲(カン・ジョンホン)韓国問題研究所代表、金昌五(キム・チャンオ)韓統連青年学生育成委員長、宋忠鉞(ソン・チュンソク)祖国平和統一協会事務局長を講師に招いてシンポジウムを行い、激動する朝鮮半島情勢と民族統一における在日同胞の役割について、情勢分析や講師の方々の活動に身をおいた自分史を踏まえる形での講演をして頂きました。

また実行委員会から2名がパネラーとして講師の方々と討論を行いました。その後、参加した各組織の活動報告を行った際には、活動報告とは別に報告者の統一論が語られ、世代、立場、フィールドの多少の差異があれど、参加者全員が統一運動への主体者として、この場に居合わせているのだとヒシヒシと感ずることができました。

フォーラムの終盤には、私と留学同の学生が私たちなりの在日同胞を取り巻く情勢報告や、「ハナフォーラム」開催に至る経緯、そして在日同胞に対する提言を盛り込んだ「学生アピール」を発表しました。

「ハナフォーラム」自体は、学生アピールの発表で閉会だったのですが、その後に「コリアン学

生ハナパーティー」という親睦会を開き、フォーラムに参加していた学生はもちろん、青年の方々も多く参加していただき、フォーラムのビラに「青年学生から統一を！」とあるように在日同胞青年学生の交流、また討論が親睦会の会場で行われ、その日一日の一連の行事が非常に盛り上がったことを実感することができました。



▲ハナパーティーでの記念写真  
(左側2番目が康帝洙会長)

今回の「ハナフォーラム」の始まりは、2年前の学生協と留学同との交流が全てのきっかけだったのですが、当時私は留学同京都に在籍していた友人から誘われて、学生組織同士の交流に初めていきました。彼は既に学校、留学同を卒業しているのですが、留学同のOBとして参加してくれ、楽しんでくれたこと、また久しぶりに会う機会を持てたことが非常に嬉しかったです。

統一運動に学生の立場から寄与し、在日同胞青年学生が統一運動に主体的に参加できるよう促していくために、今回開催した「ハナフォーラム」は学生協においても、留学同においても他の在日同胞学生組織同士での初の連帯行事となり、その歴史的意義はとて大きい行事となったと思います。また両学生組織が尽力し、楽しむことができた行事でした。



## ◆◆読書紹介◆◆

# 国ってなんだろう？

## あなたと考えたい「私の国」の関係

著者 早尾貴紀

平凡社 1400円＋税

「国のあり方を知ることは、自分のあり方を考えることだった」。表紙に書かれたこのキャッチコピーに惹かれて本書を購入しました。

本書は国と個人の関係のあり方を述べることによって、人権や国籍や民族、戦争や紛争、差別や植民地支配、難民や移民、核兵器や原発、政治や社会及び外交、軍事・法律・教育・歴史について考えさせられる本です。

本書は中学生の疑問や質問に対して、著者が答えるという形式で書かれています。現在、世界には200余りの国が存在していますが、本書では主に朝鮮半島や中東、ヨーロッパ、日本などを中心に国のあり方について書かれています。

国と個人の関係について書かれた本書を読んで私が改めて思ったことは、国同士の対立、戦争や軍拡競争が起きて国同士の関係が悪化すると、進学や就職、結婚など個人の人生にも悪影響を及ぼすということです。

朝鮮半島情勢を例に出すと拉致・核・ミサイル

問題でアメリカ、韓国、日本と北朝鮮の対立が悪化すると、朝鮮半島にルーツを持つ在日朝鮮人に対する暴力や嫌がらせが起きたり、朝鮮学校に対する高校授業料無償化除外、補助金停止などの差別措置が実施されてしまうことです。

朝鮮半島に関する記述で著者は、①日清戦争、日露戦争は朝鮮植民地支配を目的にした、日本の帝国主義戦争であること。②アメリカとソ連による朝鮮分断や在日朝鮮人の存在などの歴史的要因が、日本の朝鮮植民地支配にあることだと述べて、しっかりと自国の不正義の歴史を直視しています。そして、本書を読んで改めて思ったことは、国民国家や植民地主義というもの、他国や他民族の人々の人権や権利、存在を否定し、同化や排除を強要する非人間的な体制だということです。

3月10日、憲法裁判所が朴槿恵大統領の罷免を決定して韓国、トランプ政権のアメリカ、極右勢力が台頭しているヨーロッパ各国など、国と個人の関係について考える参考のためにも本書をお勧めします。李淳明



## ◆◆行事案内◆◆

<p><b>韓統連大阪本部 時局講演会</b> <b>キャンドル革命と大統領選挙</b></p> <p>日時：4月16日（日）午後5時30分 受付 午後6時～ 開会</p> <p>場所：KCC会館 (地下鉄今里駅下車徒歩10分)</p> <p>参加費：500円</p> <p>主催：韓統連大阪本部 TEL06-6711-6377</p>	<p><b>春季バーベキュー大会</b></p> <p>日時：4月30日（日）午前11時～</p> <p>場所：大阪城公園東外濠東側バーベキュー指定区域 (JR大阪城公園駅下車徒歩5分) (目印として黄色いのぼりを立てます)</p> <p>参加費：大人2千円 中・高校生1千円 小学生以下は無料</p> <p>※雨天の場合は、残念ですが中止です。 ※ビールは当日販売します。お茶は無料です。</p> <p>主催：韓統連大阪本部 TEL06-6711-6377</p>
--	---

## 編集後記

憲法裁判所による朴槿恵弾劾判決を生中継で見ました。歴史が変わる瞬間でした。5月9日が大統領選挙投票日。政権交代に期待が膨らみます。(ソソ)